

平成29年11月8日

各位

上場会社名 五洋インテックス株式会社
代表者 代表取締役社長 大脇 功嗣
(コード番号 7519)
問合せ先責任者 取締役管理部長 小林 光博
(TEL 0568-76-1050)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年5月12日付当社「平成29年3月期決算短信」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	1,020	△65	△80	△90	△5.42
今回修正予想(B)	900	△178	△212	△222	△12.05
増減額(B-A)	△120	△113	△132	△132	
増減率(%)	△11.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	1,021	△73	△71	△53	△3.28

平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	660	△65	△70	△4.22
今回修正予想(B)	580	△145	△150	△8.14
増減額(B-A)	△80	△80	△80	
増減率(%)	△12.1	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	613	△61	△65	△4.07

- (注) 1 前回発表予想の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数16,598,995株に基づいて算出しております。
2 今回修正予想の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数18,428,503株に基づいて算出しております。
3 前期第2四半期実績の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数16,200,014株に基づいて算出しております。

修正の理由

景気は、設備投資や個人消費の持ち直しの動きにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。当社グループを取り巻く事業環境は、室内装飾品関連(カーテン等)市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は減少しております。このような状況の下、当社グループはメインブランドであります「インハウス」見本帳を、平成29年5月に5年ぶりに大幅改訂しました。

売上高は、室内装飾品関連は主に景気の回復が遅れている専門店への販売が振るわず減少を見込み、IT関連ではシステム開発の遅れが響くなど、全体では当初の予想より減少する見込みとなりました。

また、利益面におきましては、販売費及び一般管理費において見本帳「インハウス」の改訂に係る販売促進費用等の増加、営業外費用として第三者割当増資に伴う株式交付費が発生したことで、当初の予想から損失が拡大する見込みとなりました。

なお、個別業績予想の修正理由は、上記理由と同様であります。

通期の見通しに関しましては、室内装飾品関連では今後、専門店への販売は不透明ではありますが、マンション業者への販売が堅調に推移することが見込まれることから、「インハウス」新柄による販売強化を図ることで、売上高増加を目指してまいります。

また、IT関連では子会社であります株式会社レックアイが当社グループから外れることとなりますが、一方で、平成29年7月に設立登記しました株式会社キュアリサーチによる先端医療検査に関わるサービス事業の運用を開始することで、収益拡大を図ってまいります。

以上のことから通期の業績予想につきましては、現在のところ前回予想数値に変更はありませんが、上記の要因が業績に与える影響は精査中であり、業績予想数値が変更になりましたら、改めて開示いたします。

- (注) この資料に記載しております業績等の予想数値におきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上